

UR賃貸住宅 新 CM

吉岡里帆さん、千葉雄大さんが多彩な間取りのお部屋を訪問し、 集会所の親子イベントに飛び入り参加！

いろいろなお部屋と温かいコミュニティがあって、子育てしやすいURの魅力を発信する
新 CM「外も中もステキ！」篇、「子どもの居場所」篇

2025 年 11 月 28 日(金)から全国で放映開始



「外も中もステキ！」篇



「子どもの居場所」篇

独立行政法人都市再生機構(以下「UR」)は、UR賃貸住宅のイメージキャラクターである俳優の吉岡里帆さん、千葉雄大さんを起用した新 CM「外も中もステキ！」篇、「子どもの居場所」篇を、2025 年 11 月 28 日(金)から全国で放映開始いたします。また、同 CM のメイキング・インタビュー動画も、同日 11 月 28 日(金)からUR都市機構公式 YouTube チャンネルで公開いたします。

今回は、URのロゴカラーを基調としたおなじみの制服に身を包んだ「URであーるガール」の吉岡里帆さん、「URであーるボーイ」の千葉雄大さんが、埼玉県鶴ヶ島市にある「かわつるグリーンタウン」を訪問。広々とした緑豊かな敷地内に、さまざまなタイプの部屋があることを表現した「外も中もステキ！」篇、敷地内の集会所で開催中の親子イベントに 2 人が飛び入り参加する様子を描いた「子どもの居場所」篇を通じて、単身者からファミリー世帯まで幅広い居住者のニーズに対応し、子どもが安心して遊び、共に育つ環境があるUR賃貸住宅で子育てすることの魅力を伝えます。吉岡さんと千葉さんがそれぞれ韻を踏んだリズムミカルなフレーズでURの住環境を紹介するシーンや、集会所の親子イベントで大勢の子どもたちと楽しそうに交流する姿など、見どころたっぷりの新 CM にご注目ください。

■新 CM ストーリー

「外も中もステキ！」篇(15 秒)

「かわつるグリーントウン」の自然あふれる広々とした敷地内に立ち、「緑が豊かなシチュエーション！」とアピールする吉岡さん。続いて、千葉さんは「お部屋はきれいにリノベーション！」と、リノベーションされたばかりのお部屋を紹介し、吉岡さんは「ひとりで過ごすリラクゼーション！」と女性が読書しながらお部屋でくつろいでいる姿を伝えます。そして、「それぞれ楽しむジェネレーション！」と3世代が集うご家族のお部屋を訪れた千葉さん。そこへ吉岡さんも加わって、ご家族とともに「である！」とカメラ目線でポーズを決めます。敷地内の広場に立ち、「いろいろなお部屋が、そろってる」とカメラ目線で呼びかける吉岡さん。最後は千葉さんと一緒に「UR である♪」と呼びかけるカットで締めくくられます。

「子どもの居場所」篇(15 秒)

「かわつるグリーントウン」の敷地内にある集会所の親子イベントに飛び入り参加した吉岡さんと千葉さん。みんなで一緒に作った芋ハンコを押して遊びます。ところが、千葉さんが押した芋ハンコはURの文字が左右逆さまで、すかさず吉岡さんが「文字逆！」と指摘。あちゃ、と変顔をしておどける千葉さんを見て、吉岡さんたちが楽しそうに笑っていると、周りに続々と他の子どもたちも集まってきます。子どもたちから折り紙をプレゼントされて、うれしそうな吉岡さん。その姿に、「子育てしやすいワケがある」というナレーションが重なり、最後は屋外の広場に集まった居住者の皆さんが、吉岡さんと千葉さんと一緒に「UR である♪」と呼びかけるカットで締めくくられます。

■吉岡里帆さん、千葉雄大さんインタビュー

——CM 撮影の感想を教えてください。

【吉岡さん】：今回の CM は、埼玉県鶴ヶ島市にあります「かわつるグリーントウン」で撮影しました。「子どもの居場所」篇は、実際に子どもをどういうふうに遊ばせてあげたらいいんだろうとか、そういう悩みを持つ子育て中のご家族にとって、URはすごく良いですよ、ということが伝わるCMになったかなと思います。団地内の集会所で催された親子イベントで、親御さん同士が意見交換をしたり、子どもたち同士がつながりを持ったり、一緒に楽しい時間を過ごす姿を描くことで、自由な子どもの居場所を提示されているURさんのCMができたかなと思っています。

【千葉さん】：今回はたくさん子どもたちと撮影させていただいて、大変賑やかな感じでした。芋ハンコを押すシーンでは、僕も小学校の時に作った記憶があったので、すごく懐かしかったです。「外も中もステキ！」篇の撮影では、URさんの住宅は一人暮らし用から2世代、3世代用のいろいろな部屋があるということで、おばあちゃんからお子さんまで、3世代揃ってパーティーをしているところにお邪魔して、楽しく撮影できました。

——今回のCMの見どころを教えてください。

【吉岡さん】：「子どもの居場所」篇は、「DANCHI つながる一む」というイベントをURでやっていますということを紹介する内容で、子どもたちの元気いっぱいな姿とか、集会所というちょっと開けた空間に

集まって、それぞれがコミュニケーションを取りながら楽しんでいる様子がとても素敵だなと思いました。私も子どもたちが折り紙を作ってくれたり、みんなが話しかけてくれたりして、すごく楽しい気持ちになりましたし、お父さんお母さんたちも実際に自分の子どもたちがあんなふうに近所の子たちと仲良くなってくれたらすごく嬉しいだろうなと思いました。つながるということが安心感にもつながっていくので、コミュニティの大切さがすごく伝わる CM になっているのかなと思います。

【千葉さん】:「外も中もステキ！」篇ではちょっと韻を踏んだセリフがあって、リズムカルな感じで撮影したので、そこも見どころだなと思います。あと、「であーる！」のセリフもみんなで合わせて撮影したので、我らのチーム感を楽しんでもいただけたらいいなと思います。

【吉岡さん】:URの CM をみんなが知ってくれていたので嬉しかったです。今回の撮影でも子どもたちから「CM 見てたよ！」「URの人だ！」と言ってもらえて、認知度が上がってきているなと思いました。

【千葉さん】:僕も子どもたちから衣装のつなぎ目を何度も触られました。「色が違うね」って(笑)。

——幼少期はどのような遊びをしましたか？

【吉岡さん】:実家は山が近かったので、みんなで山の方に行って、木登りや虫取り、秘密基地作りとか、結構アクティブな遊びをしていましたね。あとは、近所の子たちと探検ごっこをして街に繰り出すみたいな。みんなで一列になって、お菓子とか小さいライトを持って探検しました。今回の CM と同じように、私の幼少期も近所のコミュニティがあって、一緒に書道教室へ通ったり、お家へ遊びに行ったり、誰かの家で勉強したりとか、割と近所の子と仲良くコミュニケーションを取るタイプでしたね。

【千葉さん】:僕はキャラクターごっことか社長ごっことか、ごっこ遊びが多かったですね。子どもの頃の社長のイメージで、「まあまあまあまあ」と友達にジュースを注いだり、一緒にお菓子を食べたりして楽しかったですし、それは今でも好きです。社長ごっこ、またやりたいですね。今は子どもの頃より、もうちょっと社長のリアリティーが高まりましたけど(笑)。

——ひとりのリラクゼーション時間は家でどう過ごしていますか？

【吉岡さん】:私は最近新しい趣味ができて、盆栽を始めました。ミニチュア盆栽というものを教えていただいて、通常よりも小さいミニチュアサイズなのですが、ちゃんと盆栽なんですよ。その子たちの普段のお手入れとか、成長すると植木鉢のサイズを大きくして入れ替えるとか、細々やることにすごくハマっています。毎日の水やりも欠かせないのですが、そういう手のかかる感じが楽しくて、今は40株ぐらい育てています。

【千葉さん】:思ったより結構ガチ勢でしたね。

【吉岡さん】:はい、結構ガチでやっています(笑)。

【千葉さん】:最近断捨離をして家がすごくキレイになって、ちょっとスペースに余裕もできたので、部屋にお花を飾るようにして、お花屋さんに定期的買いに行っています。以前、店員さんに「お花の色は何色にしますか？」と聞かれたので、「白緑をお願いします」と答えたら、「ホワイグリーンですね」と言われました。そこで「花屋業界では、白緑のことをホワイグリーンと言うんだ」ということを学んだりとか、そういうくらしをしています。

——CM をご覧になる視聴者の皆さんにメッセージをお願いします。

【吉岡さん】:URでは今回の CM のように、集会所や屋外の広場でお子様も楽しめる親子イベントを開催していて、そこでお父さんお母さんたちがコミュニティを作って、子育ての相談をし合ったりしています。そういういろいろなことを共有できる場所があるので、子育て家族にぴったりだなと、私も今回の CM を通して感じました。子育てが不安だなと思われる方、地域のコミュニティを作って子どもたちと一緒に育てていけたらいいなと思っている方は、ぜひURへのお引っ越しを検討してみてはいかがでしょうか。

【千葉さん】:URは屋外も緑がいっぱいですし、お部屋のメンテナンス、リノベーションもしっかりされていてすごくきれいです。生活スタイルに合わせて、おひとりさまでもご家族でも、幅広く対応できるお部屋が揃っているので、ぜひURで新しい生活を始めてみてはいかがでしょうか。

■新 CM「外も中もステキ！」篇(15 秒)ストーリーボード



SL)
UR !



吉岡さん)
緑豊かな
シチュエーション !



千葉さん)
お部屋はきれいに
リノベーション !



吉岡さん)
ひとりで過ごす
リラクゼーション !



千葉さん)
それぞれ楽しむ
ジェネレーション !



吉岡さん+千葉さん+家族)
であーる !



吉岡さん)
いろんなお部屋が、
そろってる。



吉岡さん+千葉さん)
♪URで あーる

千葉さん)
キャンペーン中 !

■新 CM「子どもの居場所」篇(15 秒)ストーリーボード

	SL) UR !		千葉さん off) 子どもの居場所が アリ♪アリ♪
	吉岡さん) 今日は集会所で		吉岡さん) 子育てしやすいワケがある。
	吉岡さん) 親子イベント！		吉岡さん+千葉さん+居住者) ♪URで あーる 千葉さん: キャンペーン中！
	子ども) できたよ～！		
	千葉さん) いくよ～！ 吉岡さん) あ 芋ハンコ！		
	千葉さん) 離すよ～！		
	吉岡さん) あ！		
	吉岡さん) 文字逆！		

■出演者プロフィール

◇吉岡 里帆 <RIHO YOSHIOKA>

1993 年 1 月 15 日生まれ。京都府出身。

2015 年、『あさが来た』で NHK 連続テレビ小説に初出演を果たす。第 43 回 日本アカデミー賞に映画『見えない目撃者』『パラレルワールド・ラブストーリー』で新人俳優賞、第 46 回 日本アカデミー賞に映画『ハケンアニメ!』で優秀主演女優賞、第 48 回日本アカデミー賞に映画『正体』で最優秀助演女優賞を受賞。現在映画、ドラマ、舞台などジャンルを問わず活躍している。近作に映画『怪物の木こり』(2023)、『まる』(2024)、『ファーストキス 1ST KISS』(2025)、『九龍ジェネリックロマンス』(2025)、『THE オリバーな犬、(Gosh!!)このヤロウ MOVIE』(2025)、ドラマ『ガンニバル』(2022)、『時をかけるな、恋人たち』(2023)、『忍びの家 House of Ninjas』(2024)、『御上先生』(2025)、『ガンニバル シーズン2』(2025)、イクサガミ』(2025)など。待機作に、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟!」(2026)などがある。

◇千葉 雄大 <YUDAI CHIBA>

1989 年 3 月 9 日生まれ。宮城県出身。

2010 年『天装戦隊ゴセイジャー』アラタ/ゴセイレッド役で俳優デビュー。

第 40 回日本アカデミー賞に映画『殿、利息でござる!』で新人俳優賞を受賞。

近年の主な出演作に、映画『もっと超越した所へ。』(2022)、『スマホを落としたけなのに〜最終章〜ファイナル ハッキング ゲーム』(2024)、ドラマ『アンメット ある脳外科医の日記』(2024)、『ダメマネ! -ダメなタレント、マネジメントします-』、舞台『ジャズ大名』(2023)『ワタシたちはモノガタリ』(2024)など。2026 年 5 月リーディングドラマ『老害の人』(東京・大阪・愛知・秋田)上演決定。

■新 CM 概要

タイトル	: 「外も中もステキ！」篇、「子どもの居場所」篇		
放映開始日	: 2025 年 11 月 28 日(金)		
放送地域	: 全国		
公式 YouTube	新 CM「外も中もステキ！」篇	https://youtu.be/5KQIXtV6sFU	
	新 CM「子どもの居場所」篇	https://youtu.be/8vZVOY08Ss8	
	新 CM メイキング・インタビュー	https://youtu.be/Aum3uA8e-VM	
	※CM に登場する住人たちは、実際の居住者ではありません。		

■制作スタッフ

CD:佐藤大悟 CW:勝浦雅彦・芦田美弥妃 AD:高島新平 CP:中島康恵・

Pr:塚原太郎 PM:大賀萌生・武田堇

演出:宮田孝三 撮影:翁長周平 照明:重黒木誠 美術:吉田透

スタイリスト:下山さつき(吉岡里帆)／澤田美幸(千葉雄大)／日座一恵(サブキャスト)

ヘアメイク:池上豪(吉岡里帆)／奥山信次(千葉雄大)／中原康博(サブキャスト)

ミキサー:木野武 編集:高橋佳祐(仮編集)／北嶋順(本編集)

音楽:川村昌司 DIT:大舘悌介 特殊機材:石畑啓一

キャスティング:中村岬・吉沢綾音(タレント)／小寺泰史(サブキャスト)

<本件に関するお問い合わせ先>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

「UR 賃貸住宅」広報事務局(電通 PR コンサルティング内)

TV 担当 中江 MAIL:yukino.nakae@dentsuprc.co.jp

紙 WEB 担当 木村 MAIL:aoto.kimura@dentsuprc.co.jp

【本件に関する一般のお客様からのお問い合わせ先】

UR都市機構

広報室 広報課 担当 古檜山 大久保 TEL:045-650-0887

住宅経営部 営業推進課 担当 柴田 森田 TEL:045-650-0878

UR 都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR 都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

